

令和4年度第4回牛久市男女共同参画審議会議事概要

《公開》

1. 日時 令和5年2月15日（水）午後2時から午後3時30分まで
2. 場所 牛久市役所4階第3会議室
3. (出席者) (会長・副会長他五十音順) (審議員15名のうち12名)
金谷正彦会長、森川志子副会長、飯田昭夫委員、大久保典文委員、大橋澄子委員、岡見清委員、小路真弓委員、杉浦輝昭委員、付月委員、村武修司委員、森口亘子委員、山田俊克委員
(事務局) 栗山市民部次長兼男女共同参画推進室長、飯村男女共同参画推進室課長補佐尾澤男女共同参画推進室担当職員、大山男女共同参画推進室担当職員

4. 議題

- (1) パブリックコメント実施結果報告
- (2) 牛久市男女共同参画推進基本計画・実施計画（第4次）

5. 傍聴人の数 0名

6. 審議の内容

冒頭、金谷会長より2月8日に開催されたワークショップ「ジェンダーギャップについて考えよう」の紹介があり、進行役の付委員、参加された森川副会長、岡見委員、山田委員に謝意が表された。

(1) パブリックコメント実施結果報告

事務局よりパブリックコメントで寄せられたご意見（2件）と対応について報告があった。

(2) 牛久市男女共同参画推進基本計画・実施計画（第4次）最終案

事務局より、第3回審議会で審議した結果をふまえ、数値目標の見直し結果や、前回の計画（案）から加筆・修正した点を中心に説明があった。

<委員からの審議内容>

【主な質問事項】

[数値目標について]

- 数値目標No.3「両親学級（Happy マタニティ講座）の夫（パートナー）の参加率」でR9目標値は90%（R3現状値71.9%）と高く設定されているがその理由は何か？
※配布資料「数値目標の見直し結果」目標No.3にあるとおり、男性の育児休業取得率が今後上昇することが予想されるため、R4年12月末の実績値74.7%から毎年3ポイントずつ上げて、5年後に15ポイント上がった90%と設定しました。
- 数値目標No.20「牛久市防災士部女性消防士数」とあるが「女性防災士」ではないか。
※審議会後に担当課に確認した結果、委員ご指摘のとおり「女性防災士」の誤りでした。

[表現・体裁について]

- 表記の統一を図っていただきたい（例：「取り組み」と「取組」、和暦と西暦（併記が望ましいと思量）、アラビア数字の全角と半角）。
- 「はじめに」で2段落目、3段落目がそれぞれ6行でひとつの文章となっており長すぎて理解しづらいため、途中で区切って読みやすくした方がよい。
- P.4のI-2-1)で「一人ひとり」の後に「の人権」と入れた方がよい。

- P.4のⅢ－1－1)等が出てくるドメスティック・バイオレンスは、(DV)を併記した方がよい。
- P.6～8にかけての表中「H28 基準値」という表現はどのような意味か？「H28 実績値」とした方がわかりやすいのではないか。
※第3次計画策定時に目標値の基準とした値という意味で、H28の実績値です。「H28 基準値」を「H28 実績値」に修正します。
- P7下部で示した出典については、文章中にも記載した方がよい。
- P.9の「有効回収数」に男女の内訳を加筆した方がよい。
- P.10(2)男女が働くことについての次の行で、「被雇用者」が3回も続けて出てくるため、書き方を工夫した方がよい。
- P.12の下から3行目「年代別」の意図は何か？2000年代などという意味か。表現を検討されたい。
- P.15の(3)で「様々な制約」という表現が気になる。制約でなく「稼働時間」など表現を工夫した方がよい。
- P.16～17の表中、「第4次計画での対応」に番号をいれてP.18～19と対応させると、わかりやすいのではないか。
- P.22のⅠ－2－3)で「男女がともに自立し」では今は自立していないように感じるため、再考されたい。
- P.25の上から3行目の「平準化」、同10行目の「生産性の向上」はどのような意味か？
- P.31の2行目「有機的に」の意味がわかりづらいので表現の修正を検討願いたい。
- P.36の「～方向性」のあとの行で行頭が段々になっている。
- P.38～39で「情報(提供)発信」という表現が何回か出てくるが、提供と発信はほぼ同義であり、もっと積極的な事業を期待したい。以前の審議会で表彰制度を提案した際は、国や県の制度の利用を検討する旨の回答であったが、事業所の良い取り組み事例を共有するためにも何らかの市独自表彰制度はあったほうが良いと思量。
※担当課は市内事業所の取り組みの把握に努め、国や県の表彰制度で募集されたときに推薦できるようにすることで対応する考えとのことです。
- P.42の事業番号No.58「性的マイノリティに対する相談体制の充実」に関して、こどももの相談者に対応するために、担当に「こども家庭課」は入れないのか。
※担当欄に記載しているのは「主な担当課」です。そこで相談者のお話を聞き取ったうえで、適切な担当課へつないでいます。

[その他]

- 前回も発言したが「こども、外国籍の方々」に対する意識調査を行うことを検討してほしい。
- 103の具体的事業に関して、市民が参加してみたいと思ったときにそれら事業の情報が参照できるよう、基本計画の文章をクリックしたら各事業のホームページにジャンプするような仕組みも一案。

最後に金谷会長より、本日審議した第4次計画(最終案)の修正については、本来であれば、いま一度審議会に諮りたいところではあるが、時間的制約の都合上、審議会委員には郵送で最終確認をお願いし、その結果を踏まえたうえで、市に答申したい旨提案があり、了承された。

以上